

おばあちゃんへ

ラジオネーム：マユミ

おばあちゃん、相変わらずのご無沙汰でごめんなさいね。

そちらはどうですか。

おじいちゃんと仲良く、穏やかに過ごせていますか。

仕事の都合でお墓からずいぶん遠いところに引っ越しちゃったので、おばあちゃんに手紙を書くことにしました。

こちらの世界では、おばあちゃん、晩年は長年施設にいて、いろんなことを思い出せずに過ごし、眠るように息を引き取っちゃったけど、そちらではまっくともかも思い出せて、「マユミはたまにしか施設に顔を出してなかったんじゃないの」「なんて言われてるんじゃないかなあと思う時があるの。あの頃は本当にたまにしか顔を出せなくてごめんね。

そういえば、施設によく顔を出していた、いとこの香奈ちゃんとは、おばあちゃんがコッソリ嗜んでいたお酒の話をすることはあったのかしら。

私たち、最近になって、お互い日本酒が大好きなことがわか

ったので、最近は折々に地酒の贈りっこをしているの。以前、日本酒の話になって、好みが似ているのがわかって、二人で「誰の血を引いたのかしらね〜」なんて話して、結構盛り上がったのよ。

私たちがまだ子供だった頃、なんで大人はお酒なんか飲むのかな、って思ってたけど、居間でおじいちゃんやおじさん達が宴会をやっている時に、台所で小さなグラスに注いだ日本酒を飲むおばあちゃんはとても幸せそうだった。

おばあちゃんが、香奈ちゃんにも私にも、ほかの孫たちのごとも分け隔てなく可愛がってくれたおかげで、いところ同士は今でも仲良くしています。おばあちゃん、本当にありがとうございます。

結構先になると思うけど、いつかみんなで宴会しましょうね。

その時は、おばあちゃんが上座ですよ。

へ 北酒場／細川たかし く